

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【公表番号】特表2013-536234(P2013-536234A)

【公表日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-051

【出願番号】特願2013-526073(P2013-526073)

【国際特許分類】

C 07 D 213/82 (2006.01)
A 61 K 31/69 (2006.01)
A 61 P 25/04 (2006.01)
A 61 P 29/00 (2006.01)
A 61 P 19/02 (2006.01)
A 61 P 17/06 (2006.01)
A 61 P 17/00 (2006.01)
A 61 P 37/08 (2006.01)
A 61 P 11/06 (2006.01)
A 61 P 11/00 (2006.01)
A 61 P 1/04 (2006.01)
A 61 P 31/04 (2006.01)
A 61 P 9/00 (2006.01)
A 61 P 13/12 (2006.01)
A 61 P 7/02 (2006.01)
A 61 P 25/28 (2006.01)
A 61 P 37/06 (2006.01)
A 61 P 33/06 (2006.01)
A 61 P 9/10 (2006.01)
A 61 P 25/00 (2006.01)
A 61 P 35/00 (2006.01)
A 61 P 19/10 (2006.01)
A 61 P 1/02 (2006.01)
A 61 P 31/12 (2006.01)
A 61 P 31/14 (2006.01)
A 61 P 31/20 (2006.01)
A 61 P 31/22 (2006.01)
A 61 P 17/02 (2006.01)
A 61 P 35/02 (2006.01)
A 61 P 7/04 (2006.01)
A 61 P 1/18 (2006.01)
A 61 P 1/16 (2006.01)
A 61 P 11/02 (2006.01)
A 61 P 27/02 (2006.01)
A 61 P 21/00 (2006.01)
A 61 P 19/06 (2006.01)
A 61 P 43/00 (2006.01)
A 61 K 31/44 (2006.01)
C 07 F 5/04 (2006.01)

【F I】

C 07 D 213/82 C S P

A 6 1 K	31/69	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	7/02	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	33/06	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/14	
A 6 1 P	31/20	
A 6 1 P	31/22	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	19/06	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	31/44	
C 0 7 F	5/04	C
C 0 7 F	5/04	A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年11月28日(2018.11.28)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 8】

「ヘテロ環」（または「ヘテロシクロアルキル」または「ヘテロシクリル」）とは、非芳香族性飽和單環式または多環式環系を意味し、これは、3～10個の環原子（例えば、3～7個の環原子）、または5～10個の環原子を含み、ここで、その環系内の原子の1個またはそれ以上は、炭素以外の元素（例えば、窒素、酸素または硫黄）の単独またはその組合せである。この環系には、隣接した酸素原子および／または硫黄原子は存在しない。好ましいヘテロ環またはヘテロシクリルアルキルの例としては、5～6個の環原子を有する環が挙げられる。そのヘテロ環またはヘテロシクリルアルキル骨格名の前のアザ、オキサまたはチアとの接頭語は、環原子として、少なくとも、窒素原子、酸素原子または硫黄原子がそれぞれ存在していることを意味する。ヘテロ環またはヘテロシクリルアルキルの窒素原子または硫黄原子は、必要に応じて、対応するN-オキシド、S-オキシドまたはS,S-ジオキシドに酸化され得る。窒素原子は所望により4級化され得る。単環式ヘテロ環またはヘテロシクリルアルキル環の非限定的な例としては、ピペリジル、ピロリジニル、ピペラジニル、モルホリニル、チオモルホリニル、チアゾリジニル、1,3-ジオキソラニル、1,4-ジオキサンイル、テトラヒドロフラニル、テトラヒドロチオフェン-イルおよびテトラヒドロチオピラニルが挙げられる。ヘテロシクリルは、非置換または置換であり得る。一様において、ヘテロシクリルは、非置換である。他の様において、ヘテロシクリルは、置換である。置換ヘテロシクリル環は、1個の置換基、1-2個の置換基、1-3個の置換基、または1-4個の置換基等で置換されていてよい。一様において、ヘテロシクリル環上に存在し得る置換基は、アシル(-C(O)-R)、アルコキシ(-O-R)、アルキル、アリール、アルキルアミノ(-N(H)-Rおよび-N(R)R)、アルキルチオ(-S-R)、アミノ(-NH₂)、アジド(-N₃)、ボロニル(-B(R)Rまたは-B(OH)₂または-B(OR)₂)、カルボキシ(-C(O)-OH)、アルコキカルボニル(-C(O)-OR)、アミノカルボニル(-C(O)-NH₂)、アミノスルホニル(-S(O)₂-NH₂)、アルキルアミノカルボニル(-C(O)-N(H)Rおよび-C(O)-N(R)R)、シアノ、ハロ(フルオロ、ブロモ、クロロ、ヨード)、ハロアルキル、ハロアルコキシ、ヘテロシクリル、ヘテロアルキル、ヒドロキシル(-OH)、アシルオキシ(-O-C(O)-R)、ケトン(-C(O)-R)、置換ハロメチルケトン(-C(O)-CH_mX_n、式中、m+n=3、X=F、Cl、Brである)、メルカプト(-SHおよび-S-R)、ならびにニトロ(-NO₂)より選択される。一面において、ヘテロ環式環に結合する置換基または該置換基の一部であるR基は、約12個未満の炭素を有するアルキル基であり、他の面において、R基は、低級アルキル基である。